

ゴール型ゲーム 「ハンドボールを基にした易しいゲーム」

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①ゴール型ゲーム（ハンドボール）の行い方について、言ったり書いたりしている。 ②パスを出したり、シュートをして、ゲームをすることができる。 ③空いている場所に素早く動いて、ゲームをすることができる。	①規則を工夫している。 ②簡単な作戦を選んでいる。 ③課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。	①ゴール型ゲーム（ハンドボール）に進んで取り組もうとしている。 ②ゲームの規則を守り、誰とでも仲よくしようとしている。 ③用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ④勝敗を受け入れようとしている。 ⑤友達の考えを認めようとしている。 ⑥周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

ゴール型ゲームは、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって易しいゲームをして、集団対集団で競い合う楽しさや喜びに触れることのできる運動です。本単元例は、ハンドボールを基にした易しいゲームを取り上げて、単元前半は規則を選んでゲームをする時間、単元後半は作戦を選んでゲームをする時間を設定することで、ゲームの行い方を工夫することにより、身に付けた基本的なボール操作とボールを持たないときの動きでゲームを楽しむことができる授業を展開するようにしています。

単元の目標

- ゴール型ゲーム（ハンドボール）の行い方を知るとともに、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをすることができるようにする。
- 規則を工夫したり、簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
- ゴール型ゲーム（ハンドボール）に進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。

指導と評価の計画（8時間）

時間	1	2	3	4
ねらい	学習の見通しをもつ		ハンドボールの行い方を知り、規則を工夫して、いろいろなチームとゲームをして楽しむ	
学習活動	オリエンテーション 1 集合、挨拶、健康観察をする 2 単元の学習の見通しをもつ ○単元の目標と学習の進め方を知る。 ○学習のきまりを知る。 3 本時のねらいを知り、目標を立てる 4 場や用具の準備をする ○場や用具の準備と片付けの仕方を知る。 5 準備運動、ゲームにつながる運動をする ○準備運動、ゲームにつながる運動の行い方を知る。 6 ゲームをする ○易しいゲームの行い方を知る。 ○相手チームを確認して、ゲームをする。		1 集合、挨拶、健康観察をする 2 本時のねらいを知り、 4 準備運動をする 5 ゲームにつながる運動をする 規則を工夫してゲームをする （相手チームを替えて、1時間に2ゲーム） 6 ゲームをする ○ハンドボールの規則の工夫の仕方を知る。 ○相手チームを決め、規則を選んでゲームをする。 ○チームでゲーム1を振り返り、選んだ規則について考えたことを伝える。 ○相手チームを替え、規則を選んでゲーム2をする。	
	7 本時を振り返り、次時の見通しをもつ 8 整理運動、場や用具の片付けをする 9 集合、			
評価の重点	知識・技能	① 観察・学習カード		
	思考・判断・表現		① 観察・学習カード	
	主体的に学習に取り組む態度	⑥ 観察・学習カード	④ 観察・学習カード	② 観察・学習カード

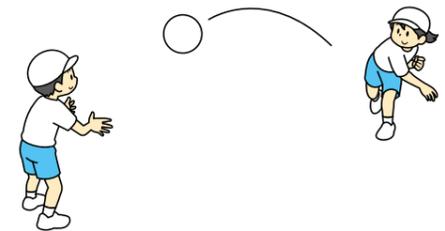
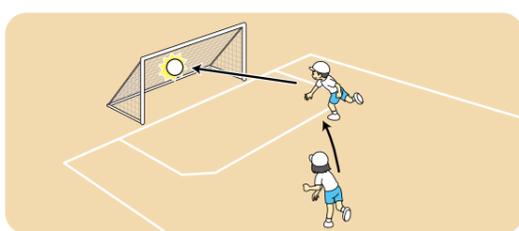
5	6	7	8
相手チームを決め、簡単な作戦を選んでゲームを楽しむ		学習のまとめをする	
目標を立てる 3 場や用具の準備をする			
作戦を選んでゲームをする （相手チームを替えずに、1時間に2ゲーム） 6 ゲームをする ○ハンドボールの簡単な作戦を知る。 ○チームで簡単な作戦を選んで、ゲーム1をする。 ○チームでゲーム1を振り返り、選んだ作戦について考えたことを伝える。 ○チームで選んだ作戦を確認して、ゲーム2をする。		学習のまとめ ハンドボール大会をする （相手チームを替えて3ゲーム） 5 ゲームにつながる運動をする 6 ハンドボール大会をする 7 単元を振り返り、学習のまとめをする 8 整理運動、場や用具の片付けをする 9 集合、健康観察、挨拶をする	
健康観察、挨拶をする		② 観察	③ 観察
	② 観察・学習カード	③ 観察・学習カード	
③ 観察・学習カード	⑤ 観察・学習カード		① 観察・学習カード

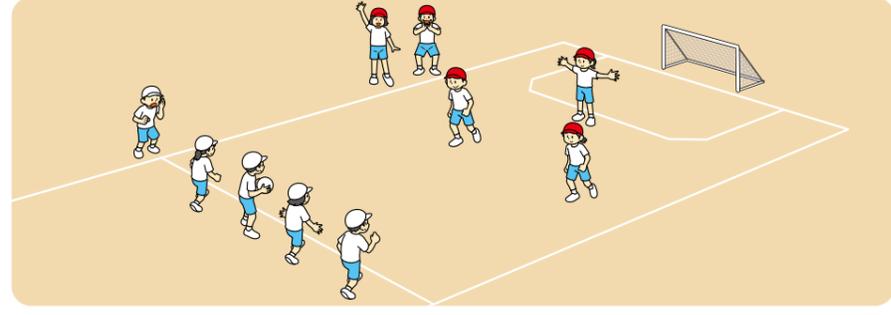
本時の目標と展開① (1/8時間)

本時の目標

- (1) ゴール型ゲーム (ハンドボール) の行い方を知ることができるようにする。
- (2) 規則を工夫することができるようにする。
- (3) 周囲を見て場や用具の安全を確かめることができるようにする。

本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点
5分	1 集合, 挨拶, 健康観察をする 2 単元の学習の見直しをもつ ○単元の目標と学習の進め方を知る。 ○チームを確認する。 ○学習のきまりを知る。	● 掲示物を活用するなどしながら, 分かりやすく説明する。 ● どのチームも同じくらいの力になるように配慮して, 五人を基本としたチームを事前に決めておく。
	学習のきまりの例 ・用具は正しく使しましょう。 ・チームで協力して学習をしましょう。 ・運動前には場の安全を確かめましょう。 ・チームの友達の考えを認めましょう。 ・審判の判定に従い, フェアなプレイを大切にしましょう。	
	3 本時のねらいを知り, 目標を立てる ハンドボールの学習の進め方を知り, 学習の見直しをもつ ○本時のねらいを知り, 自己の目標を立てる。 ● 学習カードを配り, 使い方を説明する。	
15分	4 場や用具の準備をする ○場や用具の準備と片付けの仕方を知る。 ○チームで協力して, 準備をする。	● 安全な準備と片付けの仕方を説明する。 ● 安全を確かめている様子を取り上げて, 称賛する。
	場や用具の準備と片付けのきまりの例 ・運動をする場所に危険物がないか確かめ, 見付けたら取り除きましょう。 ・運動に使う用具などは, 友達と一緒に, 決まった場所から安全を確かめて運びましょう。 ・安全に運動ができるように, 服装などが整っているか, 確かめましょう。	
	5 準備運動, ゲームにつながる運動をする ○準備運動, ゲームにつながる運動の行い方を知る。 ○学級全体やチームで準備運動, ゲームにつながる運動をする。	● けがの防止のために適切な準備運動の行い方について, 実際に動いて示しながら説明する。
	準備運動の例 肩, 腕, 手首, もも, 膝, ふくらはぎ, 足首などをほぐす運動を行う。 ゲームにつながる運動の例 ○二人組でパス・パスキャッチ ○チームでパス・パスキャッチからのシュート	
	 	・二人組で向き合ってパスを出す。パスを出すときに投げる手と反対の足 (両手で投げるときはどちらかの足) を一歩前に踏み出して投げる。 ・シュートをできる位置まで走って止まり, パスを受ける。 ・ボールを捕ったらゴールに体を向けて, シュートをする。

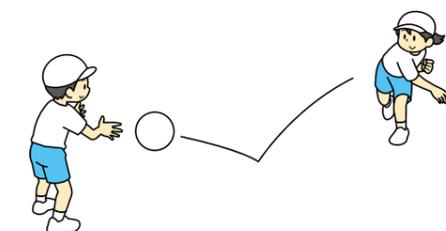
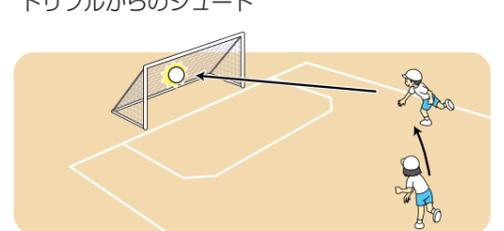
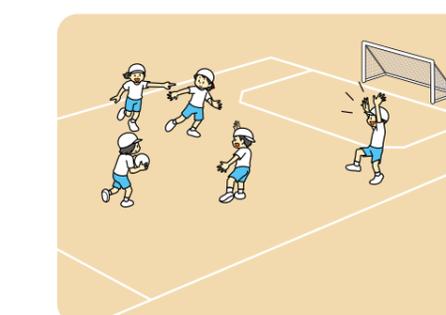
20分	6 ゲームをする ○易しいゲームの行い方を知る。	● 易しいゲームの行い方について, 学習資料やICT機器を活用したり, 実際に動いて示したりしながら説明する。
	ハンドボールの行い方の例 ○攻守を交代し, 攻める側のプレイヤーの人数が守る側のプレイヤーの人数を上回るゲーム (攻め方や守り方に慣れるための規則の例。次時からはゲームにつながる運動として行うこともできる。)	
		チームの全員がパスを受けたりシュートをしたりすることができるように, 声をかけ合いながらゲームをしましょう。 
	・コートは半分を使い, 一方のチームは続けて攻める。攻めが5回終了したら, 攻守を交代する。 ・攻める側は四人, 守る側は三人 (そのうち一人はゴールキーパー) とし, 攻めの終了ごとに見ている人と入れ替わる。(得点が入ったとき, ボールがコートの外に出たとき, 守りがボールを捕ったときが攻めの終了とする) ・攻めは, ドリブルは使わずパスで攻める。守りは, 攻めが持っているボールには触れずパスなどを防いでボールを捕る。 ・ゴール前のゴールエリアは, ゴールキーパーしか入れない。ゴールキーパーはゴールエリア内しか動けない。	
	○相手チームを確認して, ゲームをする。	● 対戦をするチームと使用するコート伝える。 ● 安全を確かめている様子を取り上げ, 称賛する。
		◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度 ⑥周囲を見て場や用具の安全を確かめている。 ➔ 練習やゲームをする際に, コートやその周辺に危険物がないかなど, 安全を確かめている姿を評価する。(観察・学習カード)
		◎安全を確かめることに意欲的でない児童への配慮の例 ➔ 使わないボールを置く場所やゲームを見る位置などを決めたり, チームの友達と一緒に安全を確かめて, 安全であることを伝え合ったりするなどの配慮をする。
		● パスでボールをつないで, シュートをしている動きを取り上げて, 称賛する。
		◎パスを出したり, シュートをしたりすることが苦手な児童への配慮の例 ➔ ボールを保持する条件を易しくするとともに, ボールを保持した際に周囲の状況が確認できるように言葉がけを工夫するなどの配慮をする。
5分	7 本時を振り返り, 次時への見直しをもつ 本時の振り返り ・ゲームをして楽しかったことや難しかったことなど, 気付いたことや考えたことを書きましょう。 ・安全を確かめることについて, 気付いたことや考えたことを書きましょう。 ・単元の学習で身に付けたいことや楽しみたいことなど, 自己の目標を書きましょう。	
	○振り返りを発表して, 友達に伝える。	● 振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに, 気付きや考えのよさを取り上げて, 称賛する。 ● 整理運動の行い方について, 実際に動いて示しながら説明するとともに, けががないかなどを確認する。
	8 整理運動, 場や用具の片付けをする	
	9 集合, 健康観察, 挨拶をする	

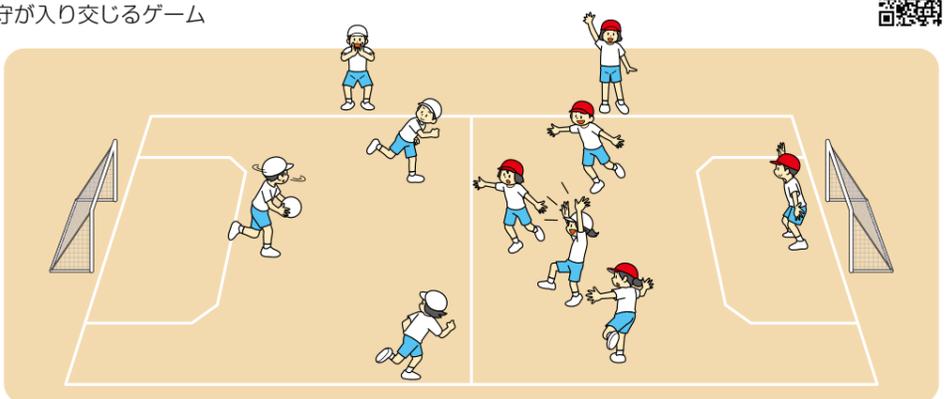
本時の目標と展開② (3/8時間)

本時の目標

- (1) パスを出したりシュートをしたりして、ゲームをすることができるようにする。
- (2) 規則を工夫することができるようにする。
- (3) ゲームで使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にすることができるようにする。

本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点
10分	1 集合、挨拶、健康観察をする 2 本時のねらいを知り、目標を立てる	
	規則を工夫して、いろいろなチームとゲームをしよう	
10分	3 場や用具の準備をする ○チームで協力して、準備をする。	●安全な準備の仕方を確認する。
	4 準備運動をする ○チームで準備運動をする。	●けがの防止のために適切な準備運動を行うように伝える。
10分	5 ゲームにつながる運動をする ○自己やチームに適した行い方を選んで、チームでゲームにつながる運動をする。	●全員が基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きに慣れることができるように、十分な時間を確保する。
	<p>ゲームにつながる運動の例</p> <p>○二人組でパス・パスキャッチ</p>  <p>・自己に適した距離で行い、少しずつ離していく。 ・慣れてきたら、バウンドのパスもする。</p> <p>○チームでパス・パスキャッチからのシュート、ドリブルからのシュート</p>  <p>・いろいろな場所でパスを受けて、シュートができる位置を増やす。 ・パスを受けた場所ではシュートができないときは、ドリブルでシュートができる位置に移動してからシュートをする。</p> <p>○チームでハーフコートゲーム</p>  <p>・チーム五人が攻め側三人、守り側二人（ゴールキーパーなし）に分かれて、ゲームをする。 ・攻めが終了することに攻め・守りがローテーションの要領で一人入れ替わるようにする。 ・パスやシュートをするのが難しいときは、ドリブルで移動できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>チームの全員の練習になるように考えたことを伝え合うなど、攻め・守りに分かれても励まし合って運動をしましょう。</p> </div> <p>●考えたことを伝えていることを取り上げて、称賛する。</p> <p>○課題解決のために考えたことを伝える。</p>	
	<p>◎守りがいない場所に移動することが苦手な児童への配慮の例</p> <p>➔ 守り側の人の位置を見るようにしたり、自分の位置からはボールを持っている友達が守り側の人に防がれずによく見えるかを確認したりするなどの配慮をする。</p>	

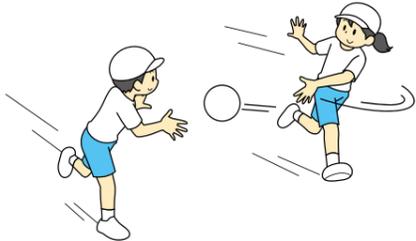
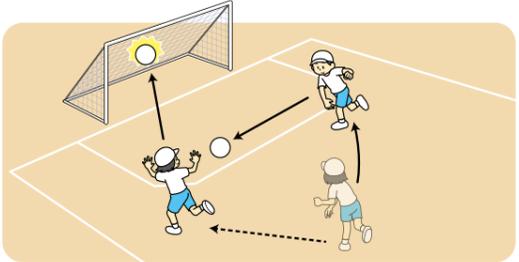
全てのチームとゲームをする 相手チームを替えてゲームをして、2~4時間で全てのチームと対戦できるようにする	
6 20分	<p>ゲームをする</p> <p>○ハンドボールの規則の工夫の仕方を知る。</p> <p>●ハンドボールの規則の工夫の仕方について、学習資料やICT機器を活用したり、実際に動いて示したりしながら説明する。</p> <p>ハンドボールのゲームの行い方の例</p> <p>○攻める側のプレイヤーの人数が守る側のプレイヤーの人数を上回る状況で、攻守が入り交じるゲーム</p>  <p>・前半3分・後半3分の合計6分のゲームをする。 ・チームから四人がゲームに出る。そのうち一人はゴールキーパーになる。ゲームに出ない人は応援やアドバイスをする。 ・ゴールキーパーは、味方チームがボールを持ったらゴールエリアから出て攻めに加わる。相手チームがボールを持ったら急いでゴールエリアに戻る。（ゴールエリア以外では守らないことで、攻める側のプレイヤーの人数が上回る）</p> <p>○使用するボールを、柔らかいボール、大きなボール、軽いボールなどをチームで選ぶ。 ○ドリブルはあり・なし、ダブルドリブルはあり・なしなどをチームで選ぶ。</p> <p>○相手チームを決め、規則を選んでゲーム1をする。（6分程度のゲーム）</p> <p>●対戦をするチームと使用するコート伝える。</p> <p>◎勝敗を受け入れることに意欲的でない児童への配慮の例</p> <p>➔ ゲームの前後に挨拶や握手を交わすことや、相手でも味方でもよいプレイや取組は称賛することが大切であることを伝えるなどの配慮をする。</p> <p>○チームでゲーム1を振り返り、選んだ規則について考えたことを伝える。</p> <p>○相手チームを替え、規則を選んでゲーム2をする。（6分程度のゲーム）</p> <p>●チームに適した規則を選んでいることを取り上げて、称賛する。</p> <p>◆学習評価◆ 思考・判断・表現</p> <p>①規則を工夫している。</p> <p>➔ 自己やチームの友達が楽しくゲームに参加できる規則を選んでいる姿を評価する。（観察・学習カード）</p> <p>◎規則を工夫することが苦手な児童への配慮の例</p> <p>➔ それぞれの規則のよさを伝えてどの規則も肯定できるようにしたり、いろいろな規則を試したりして、自己やチームに適した規則を見つかるようにするなどの配慮をする。</p>
5分	<p>7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ</p> <p>本時の振り返り</p> <p>・ゲーム1・ゲーム2の相手チームとゲーム結果を書きましょう。 ・選んだゲームの規則と、その規則でゲームをして気付いたことや考えたことを書きましょう。</p> <p>○振り返りを発表して、友達に伝える。</p> <p>●振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに、気付いや考えのよさを取り上げて、称賛する。</p> <p>●適切な整理運動を行うように伝えるとともに、けががないかなどを確認する。</p>
8 9	<p>8 整理運動、場や用具の片付けをする</p> <p>9 集合、健康観察、挨拶をする</p>

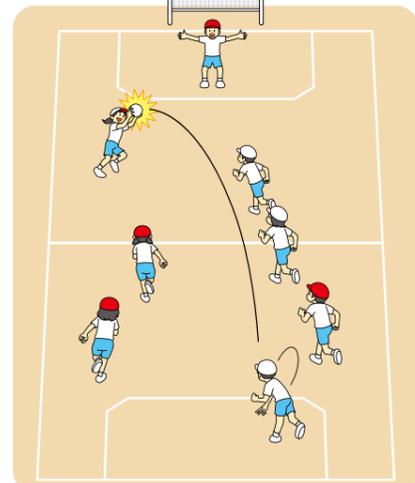
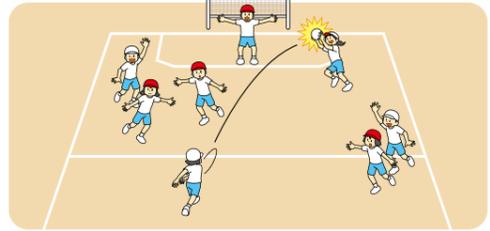
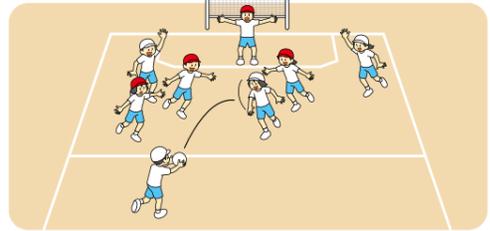
本時の目標と展開③ (6/8時間)

本時の目標

- (1) パスを出したりシュートをしたりして、ゲームをすることができるようにする。
- (2) 簡単な作戦を選ぶことができるようにする。
- (3) 友達の考えを認めることができるようにする。

本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点
10分	1 集合, 挨拶, 健康観察をする 2 本時のねらいを知り, 目標を立てる 簡単な作戦を選んでゲームをしよう	
	3 場や用具の準備をする 4 準備運動をする	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習カードを配り, 立てた目標を記入するように伝える。 ● 安全な準備の仕方を確認する。 ● けがの防止のために適切な準備運動を行うように伝える。
10分	5 ゲームにつながる運動をする ○自己やチームに適した行い方を選んで, チームでゲームにつながる運動をする。 ゲームにつながる運動の行い方の工夫の例 ○二人組でパス・パスキャッチ ○チームでパス・パスキャッチからのシュート, ドリブルからのシュート	<ul style="list-style-type: none"> ● 各チームの取組を観察し, 必要に応じて運動の行い方について実際に動いて示しながら説明する。
	  <p>・ゴールラインからもう一方のゴールラインまで二人で走りながらパスをする。</p> <p>・前時のゲームの様子を思い出して, 攻め方や守り方を相談しながらチームでゲームをする。</p> <p>○課題解決のために考えたことを伝える。</p> <p>○チームでパス・パスキャッチからのシュート, ドリブルからのシュート</p> <p>・パスを受ける位置をあらかじめ決めておき, パスを出してもらおう。 ・走り込んでボールを捕り, シュートをする。 ・必要に応じてドリブルで移動してからシュートをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 友達の考えを認めようとしている様子を取り上げて, 称賛する。 <p>◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度 ⑤友達の考えを認めようとしている。</p> <p>➡ ゲームの振り返りや自己の考えを発表し合う際などに, 発表された友達の考えを認めようとしている姿を評価する。(観察・学習カード)</p> <p>◎友達の考えを認めることに意欲的でない児童への配慮の例 ➡ 発表を聞こうとしなかったり友達の考えを否定することを言ったりする児童には, 人はそれぞれに考えに違いがあり, それを認めることが大切であることを伝えるとともに, それぞれの考えのよさを取り上げて, 気付くようにするなどの配慮をする。</p>

相手チームを決めてゲームをする 5~7時間は1時間で対戦する相手チームは替えずに, 作戦を選んでゲームをする。	
6	ゲームをする ○本時の相手チームを決める。 ○ハンドボールの簡単な作戦を知る。
20分	ハンドボールの簡単な作戦の例 ○ロングパス作戦  <ul style="list-style-type: none"> ・味方がボールを持ったら, シュートができる位置まで走る。 ・ロングパスでボールを受けたらすぐにシュートをする。 ○サイドパス作戦  <ul style="list-style-type: none"> ・ゴール近くの左右どちらにも味方がいるようにする。 ・パスがしやすい味方を見つけてパスをする。 ○手助けパス作戦  <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを持った味方がパスをできなかったり, ボールをとられそうになったりしたら, 助けられる位置に移動する。
	○チームで簡単な作戦を選んで, ゲーム1をする。(6分程度のゲーム) ○チームでゲーム1を振り返り, 選んだ作戦について考えたことを伝える。 ○必要に応じて作戦を選び直すなど, チームで選んだ作戦を確認して, ゲーム2をする。(6分程度のゲーム)
7	本時を振り返り, 次時への見通しをもつ 本時の振り返り ・本時の相手チームとゲーム1・ゲーム2の結果を書きましょう。 ・選んだ簡単な作戦と, その作戦でゲームをして気付いたことや考えたことを書きましょう。 ・友達の考えを認めることについて, 気付いたことや考えたことを書きましょう。
5分	○振り返りを発表して, 友達に伝える。 ○振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに, 気付きや考えのよさを取り上げて, 称賛する。 ○適切な整理運動を行うように伝えるとともに, けががないかなどを確認する。
8	整理運動, 場や用具の片付けをする
9	集合, 健康観察, 挨拶をする

本時の目標と展開④ (8/8時間)

本時の目標

- (1) 空いている場所に素早く動いてゲームをすることができるようにする。
- (2) 課題の解決のために考えたことを友達に伝えることができるようにする。
- (3) ゴール型ゲーム (ハンドボール) に進んで取り組むことができるようにする。

本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点
15分	1 集合, 挨拶, 健康観察をする 2 本時のねらいを確認する ハンドボール大会で楽しくゲームをして, 学習のまとめをしよう ○本時のねらいを知り, 自己の目標を立てる。	●学習カードを配り, 立てた目標を記入するように伝える。
	3 場や用具の準備をする ○チームで協力して, 準備をする。	●安全な準備の仕方を確認する。
20分	4 準備運動をする ○チームで準備運動をする。	●けがの防止のために適切な準備運動を行うように伝える。
	5 ゲームにつながる運動をする ○自己やチームに適した行い方を選んで, チームでゲームにつながる運動をする。	●チームの作戦につながる行い方を選ぶように伝える。
20分	6 ハンドボール大会をする ○ハンドボール大会の行い方を知る。 ハンドボール大会の行い方やきまり ・各チーム3回ゲームをします。ゲームの間にチームの話し合いの時間を十分に取ることができないので, ゲームの前にはチームで手短かに考えを確認し合うようにしましょう。 ・全員が楽しくゲームができるように, 元氣よく気持ちのよい応援をしましょう。	●ハンドボール大会の行い方を説明する。 ◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度 ①ゴール型ゲーム (ハンドボール) に進んで取り組もうとしている。 ➔ ハンドボールのゲームやゲームにつながる運動, チームでの話し合いなどに進んで取り組もうとしている姿を評価する。(観察・学習カード) ◆学習評価◆ 知識・技能 ③空いている場所に素早く動いてゲームをすることができる。 ➔ 選んだ作戦に応じて, ボールを持たないときは空いている場所に素早く動いてゲームをしている姿を評価する。(観察)
	○ゲーム1・ゲーム2・ゲーム3の相手チームを確認する。 ○チームで簡単な作戦を選んで, ゲーム1をする。(6分程度のゲーム) ○チームで選んだ作戦を確認して, ゲーム2をする。(6分程度のゲーム) ○チームで選んだ作戦を確認して, ゲーム3をする。(6分程度のゲーム) ○課題解決のために考えたことを伝える。	●対戦をするチームと使用するコート伝える。 ●考えたことを伝えていることを取り上げて, 称賛する。
10分	7 単元を振り返り, 学習のまとめをする 単元の学習の振り返り ・ハンドボール大会をして, 気付いたことや考えたことを書きましょう。 ・単元の学習で, できるようになったことを書きましょう。 ・学習したことで, 今後の学習や日常生活の中で取り組んでいきたいことを書きましょう。	●振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに, 気付きや考えのよさを取り上げて, 称賛する。
	8 整理運動, 場や用具の片付けをする 9 集合, 健康観察, 挨拶をする	●適切な整理運動を行うように伝えるとともに, けががないかなどを確認する。

2学年間にわたって取り扱う場合

【第3学年における指導と評価の計画 (ゴール型ゲーム「ポートボール」)】

時間	1	2	3	4	5	6	7	8	
ねらい	学習の見通しをもつ	ポートボールの行い方を知り, 規則を工夫してゲームを楽しむ			簡単な作戦を選んでゲームを楽しむ			学習のまとめをする	
学習活動	オリエンテーション ○学習の見通しをもつ ・学習の進め方 ・学習のきまり ○ポートボール 易しいゲームをする	ポートボール 全てのチームとゲームをする ○ゲームにつながる運動 ・ボールに慣れる運動 ・チームで連続パス ○ゲームをする ・チームで規則を選んでゲーム1をする ・ゲーム1で選んだ規則を振り返る ・選ぶ規則を確認してゲーム2をする			ポートボール 相手チームを決めてゲームをする ○ゲームにつながる運動 ・チームでパス・パス・シュート ○ゲームをする ・相手チームを決めて簡単な作戦を選ぶ ・ゲーム1をする ・ゲーム1を振り返り, 作戦を確認してゲーム2をする			学習のまとめ ○ポートボール大会 簡単な作戦を選んでいるいろいろなチームとゲームをする ○学習のまとめをする	
	知識・技能		① 観察・学習カード				② 観察	③ 観察	
	思考・判断・表現				① 観察・学習カード				② 観察・学習カード
	主体的に学習に取り組む態度	⑥ 観察・学習カード		④ 観察・学習カード		③ 観察・学習カード			① 観察・学習カード

●評価標準のゲームは「ポートボール」とする。

【低学年「ゴールに向かってボールを投げるボールゲーム」との円滑な接続を図るための工夫 (例)】



- 「味方にパスを出すこと」, 「ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動すること」を身に付けるために
 低学年で設定した「シュートゲーム」では, ゴールに向かってボールを投げるゲームで, ねらったところにボールを投げたりボールを捕ったり止めたりして, ゲームをして遊びました。中学年では, 味方にパスを出したりボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動したりして, チームでパスをつないで攻めることができるようになります。
- そのため中学年のはじめでは, シュートも味方へのパスで行う「ポートボール」で, パスを中心としたボール操作をすること, 低学年の際と同様に攻める側が守る側の人数を上回るゲームをすることで, ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができるようにしましょう。

- (例) 攻める側が守る側の人数を上回るゲーム
 ・四対四のゲーム (各チーム一人はゴールマン) で, 一人は守る側のコートにハーフライン (コートを中央で区切る線) を越えて戻れない規則にすることで, 攻める側の人数が多くなるゲームをする。
- (例) チームでパス・パス・シュート
 ・チームで, コートの端からパスを始め, パスをつないでシュートをする (持って移動, ドリブルでの移動はなし)。シュートが決まったり, 失敗しボールがコートから出てしまったりしたら, コートの端から再び始める。決めた時間内に何回ゴールができたかを数える。

【第3学年において重点を置いて指導する内容 (例)】

- 知識及び技能
 味方とパスをつないでシュートをするゲームの行い方を知るとともに, ゲームやゲームにつながる運動で, 味方が捕りやすいパスをすること, 味方にパスを出したりボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動して味方からパスを受けたりすることができるようにしましょう。
- 思考力, 判断力, 表現力等
 規則の工夫は, 学級全体での話し合いで出された工夫の中から, チームのみんなが楽しくゲームに参加できる規則を選ぶことができるようにしましょう。作戦の工夫は, 規則の工夫を基にしてチームでパスをつなぐことができる簡単な作戦を選ぶことができるようにしましょう。
- 学びに向かう力, 人間性等
 チームでゲームをする際は, 自己や友達の失敗を責めず仲よくしようとする, 他のチームとゲームをする活動においては, ゲームの最中や終了後の勝敗を受け入れることができる態度を育みましょう。また, 各コートで判定や得点などを友達と一緒にしようとしながらゲームを進めることができるようにしましょう。